

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号	C-9-1
事業名	鏡石三区コミュニティセンター建設事業
事業費	総額 54,154千円（国費 40,615千円）
事業期間	平成24年度
事業目的	<p>東日本大震災後、避難し町内にバラバラになっていた地域住民のコミュニティの場を整備するため、全壊した鏡石三区コミュニティセンターの改築を行った。</p> <p>また、建設にあたっては、化石燃料を基盤とする一方通行型の社会経済システムから、木質バイオマスなどの再生可能な資源を基盤とした循環型社会への転換を促進するため県産材を活用することとした。</p>
事業地区	岩瀬郡鏡石町本町地内
事業結果	<ol style="list-style-type: none">鏡石三区コミュニティセンター建設費 36,591千円 ・構造 木造平屋建て（建築面積162.03㎡）建設用地買収費 用地面積（892㎡） 17,207千円敷地分筆嘱託登記委託費ほか 356千円
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"><div style="text-align: center;"><p>完成写真</p></div><div style="text-align: center;"><p>交通安全教室</p></div></div>
事業の実績に関する評価	<p>① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価</p> <p>東日本大震災以降、長期間に渡って地域の活動を行う場が無かったため、地区住民からは一刻も早い集会施設の建設を望む声が多く、平成24年7月に本体建築に着工し同年12月に完成した。完成後は、行政区の集会ばかりではなく、子ども育成会や老人クラブ等の会合、さらに交通安全教室など様々なイベントの開催場所として多くの住民の交流の場として使用されている。また、県産の木材をふんだんに使った建物は、利用している住民から温かみのある施設として大いに好評を得ている。</p>

○ 鏡石三区コミュニティセンター利用実績

- ・平成25年度4月より区民利用開始。
- ・利用実績回数累計500回超
- ・利用実績人数累計10,000人超

② コストに関する調査・分析・評価

集会施設の建築については、過去に同町で建築した集会所と規模・内容の比較検討を行った。又、建築費の積算にあたっては福島県の建築単価を基に適正に積算した。

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

東日本大震災からの一早い復興及び地域住民のコミュニティの場を確保するために事業に着手した。先ず建設用地の確保及び用地交渉、コミュニティセンターの設計等を同時進行で行い、平成24年7月に本体工事に着手した。

震災後、復興業務が進む中、建設工事業者や資材の確保が難しい中だったが、完成予定時期に計画どおり完成させた。

事業担当部局

総務課 電話番号：0248-62-2111



鏡石三区コミュニティセンター 位置図

C-9-1
鏡石三区コミュニティセンター
建設事業

施工箇所：鏡石町本町地内

鏡石三区コミュニティセンター

平成24年12月28日 完成外観



平成24年12月25日



鏡石三区コミュニティセンター

平成24年12月25日

